

Shoichi Ida

井田照一の版画

2012年5月22日(火)ー6月24日(日)

開館時間 午前9時30分ー午後5時

(金曜日は午後8時まで開館。入館は閉館の30分前まで)

休館日 月曜日

主催 京都国立近代美術館、京都新聞社

京都国立近代美術館 (岡崎公園内)

The National Museum of Modern Art, Kyoto

観覧料 一般 850(700/600)円、大学生 450(350/250)円

- ()内は前売り/20名以上の団体料金の順。
- 高校生および18歳未満障がい者手帳等お持ちの方と付添者1名は無料(入館の際に証明できるものを提示ください)。
- 本料金でコレクション展もご覧いただけます。
- お得な前売券は、4月1日から5月21日までの期間限定発売。
- 前売券の主な取り扱い: チケットぴあPコード765115、ローソンチケット(Lコード57072)ほか
- 主要プレイガイド、コンビニエンスストアなど。

お問合せ 京都国立近代美術館(岡崎公園内)
 〒606-8344 京都市左京区岡崎田勝寺町 電話: 075-761-4111
 テレホンサービス(観覧会のご案内): 075-761-9900
 ホームページ: <http://www.monak.go.jp>

井田

Prints

The National Museum of Modern Art, Kyoto

WATER

EVILN

SHARD

FIRE

WIND

VAIR

KISS





京都に制作拠点を置き続けながら、国内外の膨大な数の展覧会やプロジェクトに驚異の密度で取り組み続けてきた井田照一(1941-2006)が世を去ってはや6年になります。京都国立近代美術館は2011年の秋、井田照一のご遺族から版画作品約300点の寄贈を受けました。本展はこの寄贈作品を紹介することを第一の目的としています。

作家活動の全期間を通して優れた版画作品を数多く制作した井田照一は、昭和40年代の日本の現代版画の展開と深化、国際的同時代性を獲得していく過程を語る上で欠くことのできない重要な「現代版画家」の一人です。さらに井田は昭和50年以降の30年間、版画制作だけではなく、油彩、陶、ブロンズ、紙バルブなどの様々な素材を自在に用いる重層的で、ある意味で哲学的な作品に挑み続けた「美術家」でした。振り返れば井田照一の作品は、当時の美術批評の現場との作品を通じた対話であったようにさえ思えます。このことは、井田照一の作品業績を版画という枠組みだけで語る事が不可能であることを意味しています。しかし当館はご遺族と相談を重ねた上、あえて版画作品だけの収蔵を決定しました。それは、井田版画の昭和50年頃の変化、それ以降の版画との乖離が、「日本の【現代版画】」に何が起り、何が起らなかったか」という未検証の問題を考える上で重要な示唆に満ちていると確信したからです。本展は井田照一の版画作品を通じて、昭和40年以降の日本の現代版画について考察することを第二の目的としています。

井田照一は京都市立美術大学西洋画科の在学中に独習で石版の技法を習得、当時の美術動向に反発するかのような、非身体的でクールで知的な版画表現を発表しました。彼の版画はさまざま関係者の注目を集め、東京国際版画ビエンナーレ(1968、70)に連続して招待出品されます。しかし1969-70年の間にフランスとニューヨークに滞在した後の井田は、日本の現代版画の熱狂とは距離を保ち、版画の限界を自己検証するかのような実験的な作品を多数試みています。80年代に一般化するインスタレーションを先取りするような(Conception)「版」の版だけで46点の異なるイメージを刷った「The Spy Surrounds the Spy」(1974)などは、常套的な「版画」の彼方にある概念モデルであり、1980年代以降に写真や映像表現で提起される「表象/再現」の問題として解読されるべき内容を含んでいます。これらの作品はまた、「版画とは何か?」という当時の日本の現代版画が執着した問いへの、井田の解答であり決別であったような気がします。

本展では日本の現代版画の隆盛と併走した初期作品、昭和50年前後から一貫して続く代表作「Surface is the Between」のシリーズ、命を削りながら制作したクラウンポイント・プレスでのエッチングの大作など約160点の版画作品により、美術家・井田照一の版画による業績と彼が保ち続けた時代との「間合い」、その行方を明らかにします。



井田照一の版画

1: (Blue Cake) 1967

2: (Series - In front of, In back of - "Surface - Roll Her") 1972-74

3: (Series - In front of, In back of - "Souvenir for Mrs. Stoned") 1975

4: (Surface is the Between - Field Horizon Between Vertical and Horizon No.105) 1981

5: (Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - "Paper Between a Snowed Stone and Road") 1981

6: (Descended Triangle - Triangle) 1987

7: (Well from Karma - Trap in Echo No.4) 1989

8: (La Vie en Rose) 1973

すべて京都国立近代美術館蔵

「関連イベント」

記念講演会「井田照一を語る」

6月2日(土) 午後2時~3時30分

講師 乾由明 (美術評論家)

会場 京都国立近代美術館1階講堂 聴講無料

定員 100名(当日午前11時より受付にて整理券を配布します)

[NFC所蔵作品選集 MOMAK Films @ home]

6月23日(土) 午後2時より

- 「尼僧ヨアンナ」1961年、監督:イェジー・カワレロウィツ
- 「大地のうた」1969年、監督:サタジツトレイ
- 6月24日(日) 午後2時より
- 「天人は判つてくれない」1959年、監督:フランソワ・トリュフォー
- 「アルファヴィル」1966年、監督:ジャン・リュック・ゴダール

※詳細は www.momak.go.jp/films をご覧ください。

会場 京都国立近代美術館1階講堂

料金 1プログラム500円

主催 京都国立近代美術館 東京国立近代美術館フィルムセンター

【同時開催】

井田照一 版の思考 間の思索

4月7日(土)~6月17日(日)

主催 会場 京都市美術館

京都国立近代美術館 (岡崎公園内)

The National Museum of Modern Art, Kyoto

〒606-8344 京都市左京区岡崎田勝寺町

【交通案内】

- JR・近鉄京都駅前(A1のりば)から市バス5番岩倉行「京都国会館美術館前」下車すぐ
- JR・近鉄京都駅前(D1のりば)から市バス100番(急行)銀閣寺行「京都国会館美術館前」下車すぐ
- 阪急烏丸駅・河原町駅・京阪三条駅から市バス5番岩倉行「京都国会館美術館前」下車すぐ
- 阪急烏丸駅・河原町駅・京阪三条駅から市バス46番平安神宮行「京都国会館美術館前」下車すぐ
- 市バス他系統「東山」系又は「京都国会館美術館前」下車徒歩5分
- 地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分
- お車でお願いします。岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は駐車場の割引(1台1人)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。



丸太町通	▲ 空出町駅	平安神宮
二条通	● 神宮丸太町駅	● 京都国会館
御池通	● 冷泉通	● 京都国立近代美術館
三條通	● 三條京阪駅	● 京都市美術館
三條通	● 三條駅	● 動物園